

# 夢見る人ヨセフ

(2005年度『牧羊者』夏期学校教案)

「主がヨセフと共におられたからである。」(創世記 39・23)

第1課 ヨセフの夢 (創世記 37・1～28)

第2課 ヨセフの苦しみ (創世記 39・1～23)

第3課 ヨセフの信仰 (創世記 45・1～20)

二〇〇五年度の夏期学校教案を発送できますことを感謝いたします。

早速、教案について説明させていただきます。

一、装丁について

今回も、局で作製したものを、各教会に1部ずつお送りします。必要な部数をコピーして下さい。特にワークは、生徒の数にしたがって、何枚コピーしていただいても結構です。

夏期学校は、小学生が主なメンバーになると思いますので、ワークは、1・2年生を対象にした「下級」、3・4年生向けの「中級」、5・6年生を想定した「上級」の3種類を用意しました。

しかし、下級でも、中級・上級を挑戦したい子どもたちもいると思います。ぜひ、子どもたちの教会生活の長短や学年、理解力の程度にに応じて、先生方が選んで与えて下さい。

二、カリキュラムについて

旧約聖書から「ヨセフ」を選びました。昨今、子どもたちは真の神を知らず、占い、オカルト、映画やテレビ、ゲームなどを通して、様々な悪の誘惑にほころうされ、また、様々な事件に遭遇しています。今こそ真の神を知り、自分自身の罪を知り、救われることが最も重要なことです。まず教師や親が、ヨセフから学び、罪からの救いの恵みに生かされ、子どもたちに真の救いを伝えていきますように。

夏期学校は、ひとりひとりの子どもたちとゆっくり交わり、語り合える最高の時です。交わりの中で、ふと自分の罪のこと、家族や学校での心の悩みを相談してきます。イエス様と共に明るく楽しい時間を過ごし、何でも語り合い、祈り合うなかで、ひとりでも多くの子どもがイエス様と出会う恵みの時となりますように。

今年度の教案の第一課は、自分の罪深さを知り、互いに赦し合うこと、第二課では、苦しみの中にも神は愛する者と共にいて、真実な恵みを与えてくださることを知ること、そして、第三課は、どんなことがあっても、真実な神を信じ、神に栄光を帰するヨセフの信仰にならうことを教えます。

ひとりひとりの子どもが、ヨセフのように神様に愛されていることを感謝し、どんな苦しみの中にも神の最善を信じて、神様に栄光を帰する子どもとされますように、また、救われますようにと共に祈りましょう。お互いの働きのために祈り合うとき、すばらしいことがなされることでしょう。

三、執筆担当者

メッセージ例 長谷川 和雄師

下級ワーク 吉田 美穂師

中級ワーク 藤井 洋美師

上級ワーク 小岩 喜代美師

聖書講解がないので、メッセージが詳しくなりましたがアレンジして用いてください。最後に各地の夏期学校の上に祝福をお祈りいたします。

## 第一課 ヨセフの夢

聖書 創世記37章1〜28節  
暗唱聖句 創世記37章5節

「ヨセフは夢を見て、それを兄弟たちに話したので、彼らは、ますます彼を憎んだ」  
目標 自分の罪深さを知り、互いに赦し合おう。

### 導入

あなたは勉強やスポーツ、習い事などでよい成績を修めて、家族にその話をしたことがありますか？その時、どんな気持ちでしたか？また、兄弟や友だちがよい成績を修めた話を聞いた時は、どんな気持ちになりましたか？

ヨセフには、大変なことが起きてしまいました。

### 1. 得意になるヨセフ

カナンに住むヨセフは12人兄弟の11番目で、兄たちと羊の世話をしていました。父ヤコブは年老いてからヨセフが生まれたので、他の兄弟と比べて、ヨセフのことをとてもかわいがっていました。でも、兄たちはヨセフのことが大・大・大嫌いでした。父がヨセフのことばかりかわいがったり、ヨセフが自分たちの悪いことを父に告げ口をしたりしたので、ヨセフと仲良くしたり、優しくしてあげることができませんでした。

ヨセフが17才のある日のこと、「兄さんたち、僕ね、とっても不思議な夢を見たんだ。僕たちが畑で束を結んでいると、兄さんたちの束が僕の束の周りに集まってきた、お辞儀をしたんだ」、「おい、おれたちをバカにしているのか」、「おまえが王様にでもなつて、おれたちを支配するともいえるのか。その話を聞いた兄たちは、ますますヨセフのことが大嫌いになりました。

ヨセフはまた違う夢を見ました。「ねえ、父さん、兄さんたち。今度はね、太陽と月と11の星が僕に向かってお辞儀をする夢を見たんだ。ヤコブもめずらしくヨセフをしかって、「何を言っとるんじやヨセフ。地面に

頭をつけて、兄さんたち、それにわしや母さんまでがお前を拜むとでも言うのか。けしからん」と言いまして。でも、ヤコブはこのことをずっと思っていました。

### 2. ヨセフをねたむ兄たち

兄たちはあの夢の話を聞いて、堪忍袋の緒が切れてしまいました。「ヨセフをなんとかしてやりたいよ」、「まあ、いつか絶好のチャンスがやってくるだろうよ」。その後、兄たちは羊の世話をするために、20〜30キロ離れたところに出かけて行きました。

ヤコブはヨセフに、「兄さんたちが羊の世話をしているところへ行つて様子を見て来てくれるように」と頼みました。ヨセフは自分のことを大切にしてくれる父が大好きだったので、「はい、行つてきます」とよい返事をして出かけて行きました。ヨセフは父からもらった特別な服を着て、「兄さんたちは頑張っているかな。どんな様子かしつかり確かめなくちゃ。サボったり、悪さをしていたらすぐに父さんに言いつけないといけない」と張り切っていました。

長い、長い距離を歩いて、ようやく兄たちがいるところに着きました。「おい。兄さんたち」。

「おい見ろよ。馬鹿げた夢を見るヨセフがやってきたぞ」、「奴を殺すいいチャンスがやってきたじゃないか。なあ、ルベン兄さん」、「何を言ってるんだお前たち。ぜったいにヨセフを殺すなよ。あの深い穴の中に入れてだけで十分だ」。ヨセフのことが大嫌いで、殺そうと計画していた兄たちですが、ルベン兄さんには逆らえません。ヨセフは何も知らずに近づいてきて、「久しぶり、兄さんたち。羊の世話を頑張っていたかい」とあいさつしました。「やあヨセフ、よく来たな、兄たちはヨセフが来るやいなや、すぐにヨセフを捕まえて、あの特別な服を無理やり脱がせ、深く暗い穴の中へと放り込んでしまいました。助けてよ、兄さんたち。もう告げ口したり、夢の話をしたりしないから、ここから出してよ」とヨセフが助けを求めても、兄たちは「何か聞こえたか？」「いいや何も。それにしてもいい

気分だなあ」と聞く耳すら持とうとしませんでした。「さあ、食事にしよう。兄たちはヨセフを懲らしめて気持ち晴れ晴れとしていました。

「ヨセフを懲らしめた後の食事はうまいなあ」、「あれ？あの人たちは確か…エジプトへ行くイシマエル人の一団じゃないか」、「いいことを思いついたぞ」、「どうしたの？ユダ兄さん」、「ルベン兄さんに内緒で、ヨセフをあの人たちに売ってやるのさ。ヨセフを殺して神様にのろわれても、何の得にもならないからな」、「そりや名案だ。さっそく声をかけてみよう。兄たちはイシマエル人と話をして、ヨセフを銀貨20枚で売ることになりました。「おいヨセフ。穴から出してやるぞ」、「ありがとう兄さんたち」、「でもなあ、今日からこの人がお前のご主人だ。しつかり言うことを聞くんぞ」、「やだよ。兄さんたち」、「そんなこと言っても無駄だ。さあ、さあ、こいつを連れて行つてくたさい」。

みんなにお辞儀をされる夢を見たヨセフでしたが、それとは全く反対のことが起こり、王様になるどころか、兄たちに奴隷として売りとばされ、エジプトに連れて行かれてしまいました。

### まとめ

ヨセフは自分だけが父に大切にされていたことや、神様から特別な夢を見せてもらったことでも思い上がつて、高慢になつてしまったのでしよう。兄たちはそれを良く思わないで、ヨセフをねたみ、憎んでひどい意地悪をし、殺そうとまでしてしまいました。人間のうちからなんと醜い思いがわき出てくるものでしよう（マルコ7・20〜23参照）。

神様に愛されている私たちは、人から愛されたり、よい成績を修めたりすることがあります。でも、高慢になつてそれを自慢するのではなく、むしろ神様に感謝をささげましょう。ねたみや憎しみがあることを素直に認めて、イエス様の十字架を仰ぎ、家族や友だちと赦しあつて、仲良く過ごす者とならせていただきます。

## 第二課 ヨセフの苦しみ

聖書 創世記39章1〜23節  
暗唱聖句 創世記39章21節

### 目標

「主はヨセフと共にいられて彼にいつくしみを垂れ、獄屋番の恵みをうけさせられた」  
苦しみの中にも、神は愛する者と共にいて、真実な恵みを与えてくださることを知る。

### 導入

あなたはどんな時、神様が一緒にいてくださると思いますか？お祈りがきかれて、楽しいことやうれしいことがあると思うけれど、お祈りがきかれなかったり、苦しい事やつらい事が起こったりしたときはどうでしょう？

ヨセフも次から次へとひどい目にあわされたので、「神様も兄さんたちのように、僕のことを見捨てちゃったのかな」と考えたかもしれません。しかし、神様は本当にヨセフを見捨ててしまったのでしょうか？

### 1. ヨセフが祝福された理由

ヨセフはイシマエル人たちに連れられて、暑い日差しの中をずっと歩き続けました。「僕はこれからどうなるんだろう。父さんたちは元気かな？」それから、やつとのことエジプトに着きました。そこは、今まで通ってきた砂漠とは大違いで、大きなナイル河が流れていて、植物も青々としていました。しかし、エジプトにはまことの神様を知っている人がいませんでした。

エジプト王パロの役人の中に、ポテパルという護衛兵の隊長がいました。身分の高かった彼はとても豪華な家で暮らし、彼の言うことを何でもきく奴隷たちもたくさんいました。それでも、彼はヨセフを家で働かせたかったので、奴隷として買取りました。

ヨセフがカナンにいたころは、父がとても大切にかわいがってくれたので、大好きな父の手伝いを喜んで

できました。でも今は、見ず知らずの隊長のところへ、好きなことをすることも、わがままを言うことも許されません。それでもヨセフは「はい、なんでもやります」と、来る日も来る日もせつせと働きました。

ポテパルは、「ヨセフ。あれをやってくれ」、「ヨセフ。これもやってくれ」と次から次へとヨセフに仕事を言いつけ、時にはとても難しいことも頼みました。それに対し、ヨセフは次から次へと仕事を真面目にやりこなし、すばらしい成功をおさめていきました。それを見ていたポテパルはあることに気づきました。「なぜ、ヨセフに仕事を任せると成功するのか分かったぞ。」そして、ヨセフを呼んで言いました。「ヨセフ、お前にはほんとうの神様が一緒におられるに違いない。だから、わしがつめているすべての財産をまかせることにしよう」、「ありがとうございます、ご主人さま」。ヨセフはそのご主人様の言葉を聞いて、「神様はいつも僕と一緒にいてくださるんだ。これからはずっと神様を信じて生きていこう」と思ったことでしょう。

神様は、ヨセフがどんな苦しみの中にあろうとも、いつもヨセフと一緒にいてくださって、祝福を与え続けてくださいました。そのおかげで、その後も、ヨセフだけではなく、ポテパルの家も、畑も、持ち物もすべて、ますます富んでいきました。

### 2. 誘惑からの勝利

エジプトに来たころは17才だったヨセフも、年月が経つにつれ、体もがっしりとしたとてもハンサムな青年になりました。ポテパルの妻は結婚していたにもかかわらず、「まあ、なんてすてきな青年なのかしら」と、とてもかっこいいヨセフのことを好きになってしまいました。ヨセフはこのことがポテパルの信頼を裏切るだけではなく、神様の喜ばれない罪だと分かったので、毎日誘ってくる彼女を、ずっと避けました。

毎日避けられていたポテパルの妻はだんだんヨセフのことが憎くなってきた、ヨセフが彼女を避けていた

にもかかわらず、家の召使いたちや夫のポテパルに、ヨセフが自分に嫌なことをしたとうそをついたのです。ヨセフがどんなに、「ご主人さま、あなたの奥様に対して、私はそんなことは絶対にしていません。信じてください」と言っても、ポテパルはひどく怒っていたので信じることはできません。とうとうヨセフは、王の囚人がつながれるろう獄に入れられ、またまた苦しい生活がはじまりました。

### 3. ろう獄の中で

次々とひどい目に合っていたヨセフが、とうとう、ろう獄に入れられるようになってしまいました。今度こそ、神様はヨセフから離れてしまったのでしょうか？いいえ。神様は決してヨセフから離れず、ヨセフがろう獄に入れられても、いつもヨセフと一緒にいて、変わらない恵みを与え続けてくださいました。

しばらくの後、獄の監視役から信頼されたヨセフは囚人たちの世話係になって、獄の監視役の代わりをするように命じられました。神様が共にいてくださったので、ヨセフは囚人でありながらもその仕事を真面目にやりとげ、どんなことでも祝福されました。

### まとめ

私たちもお祈りが長いあいだきかれなかったり、苦しい事が次々と起こったりすると、「神様いるのかな？」って思うことがありますよね。でも、どんなに苦しいことやつらいことがあっても、人が見ていないから悪いこと（うそ、盗み、たばこ、麻薬、殺人、など）をしようという誘惑が起こっても、神様は私たちといつも一緒にいてくださるのですから、あなたの罪のために十字架で死んでくださったイエス様の愛を思い出し、悪の誘惑に勝利されたイエス様にお頼りして生きていきましょう。神様は神様を愛する者には必ず、ヨセフの様に、苦しみを乗り越える力を与えてくださり、すべてのことを一番よいように変えてくださいます。

### 第三課 ヨセフの信仰

聖書 創世記45章1〜20節  
暗唱聖句 創世記45章8節

#### 目標

「それゆえわたしをここにつかわしたのはあなたがたではなく、神です。」  
どんなことがあっても、真実な神様を信じ、神様に栄光を帰するヨセフの信仰に倣おう。

#### 導入

あなたがテストで満点をとって、家族に褒められたとします。まことの神様を信じているあなたは、どんなことを思いますか？「私が頑張ったんだから当たり前」、「神様が頑張る力を与えてくださった」どっち？

#### 1. 夢解きと信仰 (40〜41章参照)

ヨセフは「夢を解くことは神様によることだ」と信じていました。当時のエジプトでも、夢は未来を予測すると思われていました。ヨセフは、神様がいつも共にいてくださると確信してから、獄中にあっても、どんなときでも神様にお祈りをして親しく交わっていました。ですから、不思議な夢を見て浮かない顔をしている献酌官と料理長に気が付き、彼らの夢を解いてあげることができたのです。けれどここで、ヨセフの心は少し揺らいで、「あなたが幸せになれたら私のことをパロ王に話して、ここから出してください」と献酌官に頼ってしまいます。人はとても弱いですね。献酌官も自分の幸せと王に仕えることに精一杯で、ヨセフのことなどすっかり忘れてしまいました。

それから2年が経ったある日のこと。パロ王はとても不思議な夢を2つも見ました。偉い学者たちをよんでも、誰も夢を解くことができません。その時、あの献酌官がヨセフのことを思い出しました。ヨセフももう30才になっていました。王がヨセフを呼んで「お前がヨセフか。さあ、わしの夢を解いてくれ」と頼むと、ヨセフは「いいえ。夢を解くのは私ではありません。まことの神様が王さまに平安を教えてくださいます」

と答えました。父の元で不思議な夢を見たころのヨセフなら、「自分は夢を解き明かせるんだぞ」と高慢になつていたでしょう。しかし、今は神様を信じて畏れ、「すべては神様のおかげです」と神様に栄光を帰す、謙虚なヨセフに変えられていたのです。王はそんなヨセフをとてにも気に入る、上には王しか偉い人がいないという総理大臣にヨセフを任命しました。

#### 2. 夢の実現 (42〜44章参照)

王の夢は実現して、7年豊作が続く、その後、世界中に飢きんがやってきました。しかし、まことの神様を信じている総理大臣ヨセフのおかげで、エジプトには沢山の穀物が蓄えられ、飢えることはなく、外国の人々にも分け与えることができました。

さて、ヨセフの兄たちや父もこの飢きんを乗り越えられず、食料を求めてカナンからエジプトへやってきました。エジプトに着いた兄たちは総理大臣がヨセフだとも知らずに、他の人たちと同じように地にひれ伏し、彼にお辞儀をしました。それを見たヨセフはすぐに、「あれは…兄さんたちじゃないか」と気が付き、あの夢(創37章5〜11節)の記憶がよみがえってきました。そう。兄たちに憎まれ殺されそうになり、エジプトに売られて苦しい日々を過ごすこととなったあの夢。きっとヨセフはいろんなことを感じたことでしょう。あれから20年、なんとあの夢がほんとうに実現したのです。

しかし、ヨセフは、自分が兄たちの弟ヨセフだとすぐにには教えませんでした。それは、兄たちの誠実さ(真面目さ)と悔い改めを確かめたかったのです。ヨセフは兄たちを信じないふりをして、「お前たちはスパイだ」と言い、3日間、監禁所に入れました。その間、兄たちは自分たちがヨセフにした悪いことを悔い改め、ヨセフもそれを聞いていました(創42章21〜23節)。それからヨセフはシメオンを人質にとり、弟のベニヤミンを連れてくるように命じました。

カナンに帰った兄たちは、ベニヤミンを連れて行く

ことに大反対の父ヤコブを説得しますが許されません。しかし、昔、ヨセフを売ろうと言いだしたあのユダが命をかけてベニヤミンを守ると約束し、彼を連れてエジプトに戻るようになりました。兄たちはまたあの夢のように、何度も何度も頭をさげて、お辞儀をしました。ヨセフは弟を見てうれしさのあまり涙があふれてきたので、誰にも分らないように隠れて泣きました。

それでもヨセフは「なぜあなたたちは私を裏切ったのだ」と兄たちを試し続け、今度は弟に濡れ衣を着せ、家族への愛を確かめたのです。するとどうでしょう。あのユダがベニヤミンを守り、父ヤコブが災いに会うのを助けてほしいと必死に願っていたのです。

#### 3. ヨセフの信仰

兄たちの悔い改めも、誠実も、そして家族への愛も知ったヨセフは我慢ができなくなり、家来たちを部屋の外に出しました。兄弟みずいらずになったとき、涙がどんどん溢れてきて声もでませんでした。「兄さんたち、僕だよ。ヨセフだよ」と自分のことを明かしました。そして、仕返しを恐れていた兄たちに、「僕をエジプトに売ったことを後悔しなくてもいいんだよ。僕たちの家族や親族の救いの道を用意するために、神様が僕をここに遣わして訓練してくださったのだから」。ヨセフと兄たちは神様によって仲直りができたのです。そして、カナンにいた親族をエジプトに迎え、みんな一緒に、幸せに暮らしました。

#### まとめ

ヨセフはみ言葉の真実を体験し、多くの祝福を受けても、夢を解き明かしても高慢にならず、いつも神様を信じて、神様に栄光を帰していました。そして、神様がヨセフの人生を導いておられることを信じて、ひどく苦しい目にあわせた兄たちのことも赦しました。私たちもこれから何が起るのかわかりませんが、いつでもどんなときでも最善に導かれる神様を信じて、神様に栄光を帰して生活しましょう。

# 第1課 ヨセフの夢

2005年 上級

創世記 37・1-28

名前

★ 今回の聖句を書きましょう。(創世記37・5)

1. ヨセフは、どんな気持ちで夢の話をしたのでしょうか？

⇒ あなたは、<sup>じまんばなし</sup>自慢話をしたり、<sup>とくい</sup>得意になったり、何かを見せびらかしたりしたことはありませんか？

2. 兄たちは、ヨセフに対してどんな気持ちを持ったのでしょうか？

⇒ あなたは、家族や友だちに対して、ねたみや<sup>にく</sup>憎しみの気持ちを持ったことはありませんか？

3. あなたの心の中にも、悪い思いはありませんか？ 自分にもあてはまるものがあれば、○でかこみましょう。(マルコによる福音書7・20-23)

人から出て来るもの、それが人をけがすのである。すなわち内部から、人の心の中から、

悪い思いが出て来る。 <sup>ふひんこう</sup>不品行、<sup>ぬす</sup>盗み、<sup>さつじん</sup>殺人、<sup>かんいん</sup>姦淫、<sup>どんよく</sup>貪欲、<sup>じゃあく</sup>邪悪、<sup>あざむ</sup>欺き、<sup>こうしよく</sup>好色、<sup>ねた</sup>妬み、

<sup>そし</sup>誹り、<sup>こうまん</sup>高慢、<sup>ぐち</sup>愚痴。 これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである。

4. 神様は、あなたの罪の解決のためにどのようなことをしてくださったのでしょうか？

5. 今回わかったこととお祈り

## 第2課

## ヨセフの苦しみ

2005年 上級

創世記 39・1-23

名前 \_\_\_\_\_

★ 今回の聖句を書きましょう。(創世記39・21)

1. エジプトへ連れて行かれたヨセフは、どうなりましたか？(1-6節)

パロの役人

に奴隷として買われたが、

が共におられたので

な者となり、彼の

とすべての

を管理した。

⇒ あなたは、つらい時「神様って本当にいるの？」と思ったことはありませんか？

2. ポテパルの妻の誘惑<sup>ゆうわく</sup>に対して、ヨセフはどのような態度をとりましたか？(7-18節)

ポテパルの妻に対して「神に

を犯すことはできない」と言い、彼女のさそいを

聞き入れず、

こいなかった。彼女に着物をつかまれたとき、

⇒ あなたは、「だれも見ていないから」「一度だけだから」「みんなもやってるから」と誘惑<sup>ゆうわく</sup>に負けそうになることはありませんか？

3. ポテパルの妻の誘惑<sup>ゆうわく</sup>から逃げたヨセフは、どうなりましたか？(19-23節)

に入れられたが、獄屋番となり

をゆだねられた。

⇒ あなたは、苦しいことが次々と起こった時、神様に見捨てられたと思いますか？

4. どんな時も、ヨセフが祝福された秘訣<sup>ひけつ</sup>はなんでしょうか？(2、3、21、23節)

がヨセフと

⇒ ヨセフと共におられた主は、どんな時もあなたと共にいてくださるでしょうか？  
(マタイ28・20を読みましょう。)

5. 今回わかったこととお祈り

### 第3課

### ヨセフの信仰

2005年 上級

創世記 45・1-20

名前 \_\_\_\_\_

★ 今回の聖句を書きましょう。(創世記45・8)

-----

-----

1. ヨセフは、どうして夢を解き明かすことが出来たのでしょうか？(40・8、41・16)
- 



あなたには、「神様がしてくださった！」という経験がありますか？

2. ヨセフの兄たちがエジプトにやって来た時、監禁所<sup>かんきんじょ</sup>に入れて様子を見ました。

兄たちは、かつてヨセフにしたことをどう思っていますか？(42・21-22)

-----



あなたは、自分の罪がはっきりとわかりましたか？

3. ベニヤミンに盗み<sup>ぬす</sup>の罪をさせて兄たちを試した時、兄のユダはどうすると言いましたか？  
(44・33-34)
- 



あなたは、身代わりとなってくださったイエス様の命がけの愛がわかりましたか？

4. ヨセフが、自分を売った兄たちをうらんでいないのはなぜでしょう？(45・4-8)
- 



あなたは、神様が一番良い道に導いてくださることを信じますか？

5. 今回わかったこととお祈り
-







なまえ

そうせいき39しょう1~23せつ

1. だれかに見捨てられたと感じたことはありますか？それはどんな時ですか。
2. 神様がいっしょにいてくださると感じたことはありますか？それはどんな時ですか。
3. ( ) の中から適切な言葉を選んで番号を書いてみよう。関係のない言葉もまじっているから気をつけてね。

ヨセフは( )として( )の国に売られて行った。そして、ヨセフは毎日、( )。  
ヨセフのする仕事はいつも( )。

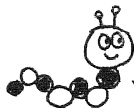
- |      |       |       |               |
|------|-------|-------|---------------|
| ①スイス | ②失敗した | ③役人   | ④いっしょうけんめい働いた |
| ⑤どれい | ⑥ねていた | ⑦成功した | ⑧エジプト         |

4. ヨセフはポテパルの奥さんにゆうわくされたけど、どうしてゆうわくに勝てたんだろう。あっているものに○をつけよう。

[ともだちがやめろと言ってくれたから      神様を信じていたから      なんとなく]

5. あなたはゆうわくに負けたと思ったことがありますか？あれば、書いてみよう。

6. みことばを書こう！



そうせいき39・21

7. わかったこととおいのり



神様は楽しい時も苦しい時もどんな時でもいっしょにいてくださるんだよ。そして、ゆうわくに勝つ力も神様がくださるんだ。いろんなことを良い方向に変えてくださるんだよ。

# 第三課

## ヨセフの信仰

2005年 中級



なまえ

そうせいき45しょう1~20せつ

1. あなたは何か、人とちがった特別なことができますか？（とくぎのようなもの）

2. 子どものころのヨセフと、大人になってからのヨセフはどんなところがちがうかなあ。あっているほうに○をつけよう。

子どものころは



大人になってからは



{ 自慢ばかりしていた（ ）  
あまりしゃべらなかった（ ）

{ 自慢せず、神様をあがめた（ ）  
えらくなってごうまんになった（ ）

3. ヨセフの身には、つぎつぎと思わぬことが起こったけれど、神様への信仰はなくならなかったんだ。あなたは、「もう教会に行くのをやめようかなあ」とか、「もう、神様を信じるのやめようかなあ」と思ったことがありますか？

思ったことのある人——どうして？

思ったことのない人——どうして思わなかったの？

4. みことばを書こう！



そうせいき45:8

5. わかったこととおいのり



自慢ばかりして、なまいきなことを言っていたヨセフは、いつも感謝し、自分にひどいことをしたお兄さんたちをゆるすことのできる人に変えられたね。それは、神様が、神様をひたすら信じるヨセフといつもいっしょにおられたからなんだよ。

2005年度



かきゅう

だい

か

ゆめ

下級 第1課 ヨセフの夢



なまえ  
名前

そうせいき しょう せつ  
創世記37章 1～28節

1. 今日のあんしょうせいくをかきましょう。

( ) は夢を見て、それを ( ) に話したので、

かれ  
彼らは、ますます ( ) 。

そうせいき しょう せつ  
創世記37章 5節

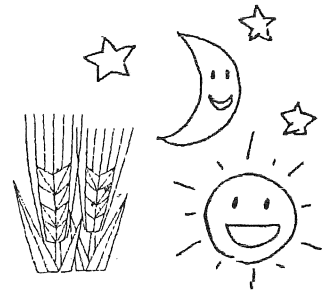
2. ヨセフはどんな夢をみましたか？正しいものに○をしてね。

( ) 太陽と月と11の星がおじぎする

( ) 麦のたばがとびはねる

( ) 麦のたばがおじぎする

( ) 太陽と月がおじぎする



3. 夢の話をしたヨセフに対して、兄さんたちはどう思ったでしょう。正しいもの2つに○をしてください。

( ) ヨセフのことがだいすき。なかよくしよう。( ) ヨセフをイシマエルびとに売ってやろう。

( ) ヨセフなんてだいきらい。ころしてやろう。( ) かぞくみんななかよくせいかつしよう。

4. 今日のおはなしをきいて、おともだちにじまんすることは良いことだと思う？それとも悪いこと？

①とっても良いこと

②たぶん良いこと

③悪いこと

こた  
答え：

5. お兄さんたちはヨセフをうらやましく思っ<sup>おも</sup>てわるいことをしました。これは罪です。わたしたちにも

こころ なか  
心の中におなじような罪はないでしょうか。どちらかに○をしましょう。あると答えた人は次のしつもん<sup>しつもん</sup>に

こた  
答えてね。

ある

ない

☆あると答えた人はどうしたら罪はゆるされると<sup>おも</sup>う？



①イエスさまのじゅうじかを<sup>しん</sup>信じます。

②ぼくが・わたしがじゅうじかにかかります。

こた  
答え：

★おいのり

「神さま、わたしたちはイエスさまに愛されています。

だから、いつもおともだちとなかよくできるように<sup>たす</sup>助けてください。アーメン」

2005年度



かきゅう  
下級

だい 2 課  
第2課

くる  
ヨセフの苦しみ



なまえ  
名前

そうせいき しょう せつ  
創世記 39 章 1 ~ 23 節

1. なんてかいてあるのでしょうか？暗号をときましょう。(ヒント：創世記39章21節)

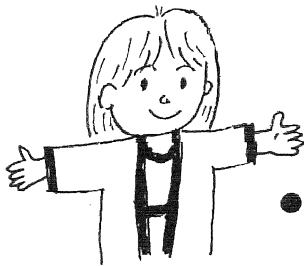
□ ! ◎ < ▽ ◆ ● ● = 〒 ※ ￥ - ○ × - 〒 ★ ▼ △ □

+ > ← - → △ ? \$ % ◇ ÷ # + > ☆ ■ ▲ ▽ ￥ - ←

い	う	お	か	<	け	ご	さ	し	せ	た	つ	て	と	ば
★	☆	※	×	△	■	→	▲	□	▽	←	▼	○	●	\$

に	の	は	ふ	み	め	も	や	ゆ	よ	ら	れ	を	ん	>
〒	◇	◎	◆	+	÷	=	?	!	<	￥	-	>	%	#

2. ヨセフが祝福されたのはなぜですか？正しいものとヨセフをせんで結びましょう。



ヨセフ

- まじめに仕事をしたので、ぜんぶせいこうしたから
- 家にいたところと同じように甘えて、わがままばかり言ったから
- 神さまがいつもいっしょにいてくださるから
- ポテパルにたからものをあげたから
- ヨセフはなんでもできるスーパーマンだから

3. わたしたちの神さまはどのようなおかたでしょうか？正しいものに○、まちがっているものに×をしてください。

( ) いつもいっしょにいてくださり、かわらないめぐみをくださるおかた。

( ) とときどきいっしょにいてくださるおかた。

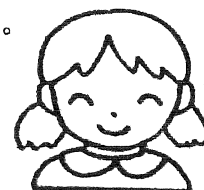
( ) 苦しいことをのりこえる力をあたえてくださるおかた。

( ) 苦しいときに、いっしょにいてくださらないおかた。

★おいのり

「神さま、悲しい時も、うれしい時も、いつもいっしょにいてくださって

めぐみをくださり、ありがとうございます。アーメン」



神さまって  
すばらしいな

2005年度



かきゅう  
下級

だい か  
第3課

しんこう  
ヨセフの信仰



なまえ  
名前

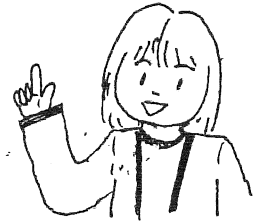
そうせいき しょう せつ  
創世記45章1～20節

1. 今日<sup>きょう</sup>のあんしょうせい<sup>く</sup>をかきましょう。(45章<sup>しょう</sup>8節<sup>せつ</sup>)

それゆえ( )をここにつかわしたのは

( )ではなく、( )です。 そうせいき45しょう8せつ

2. パロ王<sup>おう</sup>にゆめのときあかしをたのまれたヨセフはろうやから出<sup>で</sup>ることができました。ヨセフはパロ王<sup>おう</sup>にどのように答<sup>こた</sup>えましたか。正<sup>ただ</sup>しいのは何番<sup>なんばん</sup>か答<sup>こた</sup>えてね。



- ①わたしは、ゆめをとときあかす力<sup>ちから</sup>をもっています。  
②ゆめをとときあかすことはむずかしいので、わたしにはできません。

- ③ゆめをといてくださるのは神さまです。すべては神さまのおかげです。

こた 答え：

3. ヨセフとおにいさんたちは仲直り<sup>なかなあ</sup>をすることができました。それはなぜですか。下のことばをつかって

にかき、文<sup>ぶん</sup>章<sup>しょう</sup>をかんせいさせましょう。

おにいさんたちはむかし行<sup>おこ</sup>なった  を  て、総理大臣<sup>そうりだいじん</sup>となった

ヨセフに  をつくしたから。また、家族<sup>かぞく</sup>は  ことが大切<sup>だいせつ</sup>だとわかったから。

つみ 罪      あい 愛し合う      くい あらため      せい じつ

4. 神さまはヨセフの家族にとって一番<sup>いちばん</sup>良<sup>よ</sup>い道<sup>みち</sup>を用意<sup>ようい</sup>してくださいました。あなたも、神さまが一番<sup>いちばん</sup>良<sup>よ</sup>くし

てくださると信<sup>しん</sup>じますか。どちらかに色<sup>いろ</sup>をぬりましょう。



★おいのり

「いつも、わたしたちといっしょにいて、よくしてくださる神<sup>かみ</sup>さまを信<sup>しん</sup>じます。アーメン」